

小林一三さん

ながごめますみの
笑顔のリリース



ながごめ ますみ
ぶらむニュース編集長
著書に『ドラム・ベイビー』
発売・丸善がある。
株・青梅不動産会長

全寮制の学校へ入学したのも、単身、渡米をしたのも、父親の再婚相手となじめなかったことが遠因らしい。アメリカカン・ドリームを追って、戦い続けた青年が、挫折をし、傷つき迷い悩みながら人間として成長していく過程は興味深い。異国での孤独な戦いは想像を超える過酷さだっただろう。しかし小林さんはいつも明らかに笑っている。今回は日本を離れて元気に生きる日本人を紹介したい。日刊サンはハワイ唯一の日本語日刊紙である。

相手に好感を持つことが営業の基本

ますみ アメリカには何歳で？
小林 22歳のときです。
ますみ 大学を出てすぐに、ですね。
小林 いえ、僕は中学を出た後、15歳で海上自衛隊に入りました。中学の恩師が、給料がもらえて、しかも色々な技術を教えてくれると勧めてくれて。当時は海上自衛隊少年術科学校とっていて、僕は21期生です。その後、海上自衛隊第一術科学校に吸収されましたが、今年、最後の卒業式が行われ、現在は廃校になっています。
ますみ 男子ばかり？
小林 はい、しかも全寮制。
ますみ 若い男子ばかりとなると、乱暴なところもあったのでは。

小林 掃除の後のモップをしばって水滴がたれようものなら、腕立て伏せの厳しい罰が待っていましたよ。汗が手の形どおりに滲み出ました。でも、なかには水が出ないようにモップを絞ってくれる先輩もいたりして。

ますみ 昔の兵隊映画みたい(笑) 自衛隊にはどれくらい在籍したのですか。
小林 4年間学んで、3年間の実務のあと、退役しました。
ますみ そしてロサンゼルスに渡ったので

「ビジネスは金儲け」で失敗

小林 94年ごろになると、景気も少し落ち着きを取り戻し、ビジネスとは何だろうと考えるようになり、結果『ビジネスとはお金を儲けることだ』と思いました。効率よく儲けるには人に商売のチャンスを与えて利益を出すのもいいなと思い、いろいろな人や企業に投資をするようになりました。
ますみ それって、大丈夫でした？
小林 ことごとく失敗しました(笑)

ますみ やっぱ(笑) 失敗してどう思ったのですか？
小林 失敗の理由を考えましたね。担保をとっておけばよかったとか、業種を考えるべきだったとか。その頃はまだ、自分の欲が問題だったとは考えませんでした。そんな時、コスタリカで仕事をしたいという男が現れ、投資をしました。利益のいい仕事で、5年間で70万ドルほどの預金残高があったのですが、コスタリカ国からその預金が多額な金ではないかとの疑惑がかり口座を差し押さえられました。その男は逃亡し、彼の弟は禁固刑、投資家である僕の預金は没収です。70万ドルあったらリアルタイムでできる時代でしたからショックでした

小林 94年ごろになると、景気も少し落ち着きを取り戻し、ビジネスとは何だろうと考えるようになり、結果『ビジネスとはお金を儲けることだ』と思いました。効率よく儲けるには人に商売のチャンスを与えて利益を出すのもいいなと思い、いろいろな人や企業に投資をするようになりました。
ますみ それって、大丈夫でした？
小林 ことごとく失敗しました(笑)



月～金曜日 毎日9500部発行 無料
(土、日、祝日、年末年始は休刊)
ハワイの日系人に親しまれている

すね。そこで何を？

小林 アルバイトに明け暮れましたね。酒屋の店番とか、サンドイッチ売りなどですが、そんな経験をするなか、僕は人から好かれる努力をしました。客に気に入られると、売り上げやチップに違いが出ますから(笑)

ますみ 知らない国で、ひとり生きていくには人から好感を持たれることが必要だったのでしょね。人から好感を持たれるための一番の秘訣は？
小林 相手を好きになることです。
ますみ 確かに。深くイ話してですね(笑) それから何を？

30歳で不動産オーナーに

小林 車関係の仕事につき、主に日本人の顧客に車や車部品を売りました。
ますみ それまでの経験が生きますね。
小林 日本が好景気だったこともあり、面白いほど仕事はうまくいきました。そのあと、不動産業に手をだしました。
ますみ それはまた、どうして？
小林 車は大好きで、いい車を見ると、きれいな女性に会ったような気がしたので(笑)、一生、車だけではつまらないなと思うようになったのと、友人が不動産業

よ。厄年だと思いましたね(笑)
ますみ 何歳だったのですか？
小林 42歳。
ますみ あら、日本でいう厄年かも(笑) でも、車関係や不動産業がうまくいっていったのに、なぜ、次々と他のことを？
小林 欲ですね。稼いだお金は全て次の投資にあてていて、実際にはお金がないという状態で、早く本当の金持ちになりたいたかった。
ますみ ビックな資産家に憧れたのね。
小林 そう、それに少しお金を持つと、例えばレストランで料理の焼き加減がよくないと苦情を言えば作りなおしてくれるでしょ。もっと、認められたかった。

ますみ 確かにアメリカって、成功者は優遇され、そして少し頑張ると成功のチャンスがある国ですね。

ツキを取り戻そうとハワイへ

小林 そんな頃、ロサンゼルス日刊サンの社長に出会いました。今度ハワイでも日刊サンを発行すると言ってますよ。仕事で大損していた僕は場所を変えたいと思っていたので、僕に行かせてと言ったわけです。負けがこんで場所を変えるギャンブラーの気持ちでした(笑)

ますみ ツキを取り戻したいと。
小林 そう、そう(笑) でも始めは断られました。ところが数カ月後、ハワイに行かないかと言ってきたのです。その頃にはもう、仕事も生活も安定を取り戻していたのですが、一度やると言ったら後に引けない性格が(笑)。
ますみ 日本男子の損なところね(笑)
小林 それで2003年、ハワイ日刊の仕事に就きました。その後、色んな経緯があり、2006年には日刊サンを買取り、自

小林一三さんプロフィール



1960年1月19日 兵庫県尼崎市出身
血液型：A型 星座 やぎ座
名前は宝塚創始者、小林一三の名前にあやかって祖父が付けた

を始めたこともあり、30歳までに不動産を手に入れようと考えていました。はじめ6室あるアパートを購入し、翌年は13室のアパートといった具合に次々と不動産を増やしていました。
ますみ 30代で、凄いですね。
小林 でも、日本のバブルがはじけると、家賃も下がり、入居者も少なくなり、不動産を持ち続けるのは大変でした。
ますみ 借入金もあつたでしょ？
小林 はい、夜も眠れない日々が続いて。でも、困ったとき、車の方の客が車を買ってくれたりして、何とか持ちこたえました。が、あのころはもう、ガムシヤフに働きましたね。
ますみ それまでの顧客と、いい人間関係が続いていたのですね。

分で経営をすることになりました。当初はロサンゼルスから送られてくる原稿を使っていたんですが、これまた色んなトラブルに直面し、現在、ハワイ日刊サンは独自の紙面製作をしています。結果として内容が面白くなったと思います。

日刊サンを媒体として地域貢献をめざす

ますみ 野心、野望の塊だった若者が失敗やトラブルの経験を積み、どのように変わりましたか？
小林 何か始める時、それは『欲』なのか『本当に必要なことなのか』を考えるようになりましたね。

小林 何か始める時、それは『欲』なのか『本当に必要なことなのか』を考えるようになりましたね。人にとって話を聞き、本を讀んで『自分はどう生きるべきか』とずいぶん考えましたが、今は肩から力を抜いて自然体で仕事をしようと思うようになりました。すると、心の中の風通しが良くなるのか、いいアイデアが浮かんだりして(笑)



日刊サンオフィスにて



テレビインターネット電話もケーブル1本でつながる安心

TCN 多摩ケーブルネットワーク(株)
青梅市新町7-4-3 HP www.t-net.ne.jp
年中無休 TEL 0428-32-1351

企業のために、
経営者とともに。

DAIDO 大同生命

人がすべての 街づくり 夢づくり

SEIBU
西武信用金庫

青梅市 店舗一覧

河辺支店	師岡4-12-2	0428-24-1171
千ヶ瀬支店	千ヶ瀬町4-327-2	0428-24-1411
三ツ原支店	藤橋3-3-1	0428-31-1581

年金はJAで!
年金お友達紹介
キャンペーン実施中!

あなたの期待に笑顔でお応え

JA西東京 http://www.ja-nishitokyo.or.jp

本店 〒198-0032 東京都青梅市野上町 2-21-5
TEL0428-22-2176 FAX0428-23-1493